
<水球陣> 関東学生リーグ第6戦

H28.6.5 対成蹊大 @早稲田大学所沢プール

東大 1 1 2 3 計7

成蹊大 3 4 7 6 計20

得点者：池亀(1)、石田(2)、藤目(1)、山田(3)

前日に国際武道大学に敗れ、続いて挑む相手は成蹊大学だ。負け気分を引きずって勝てる相手ではない。長水路のプールということもあり、気を入れなおして強敵に挑む。

第1ピリオド

開始後、パスカットからのカウンターで石田が先制点を決める。しかし、攻防が続いた後の隙にディフェンスを抜けられて失点する。その後東大は終始パスミスが目立つ押される展開となり、カウンターと終了間際の退水によって2失点してしまい、2点差で第1ピリオドを終える。

第2ピリオド

第2ピリオドは初めに相手左サイドのカットからのドライブによって失点し、中盤になってからもマークミスで失点してしまう。タイムアウトをとって流れを変えようとするもかなわず、その後2失点する。終盤岡と池亀が退水を誘発し、コーナーを経て山田が鋭いシュートを決める。直後の成蹊の攻撃を宮内が止めるも、5点差を追う形で後半に臨むこととなる。

第3ピリオド

開始直後から中央を抜けられるなどディフェンスのミスが相次ぎ、点差が7点に開く。しかし、岡が誘発した退水を生かすきれず、相手ボールとなった直後のゴールキーパーへのパスを藤目がカットしそのまま得点する。だが、相手の猛攻を止めることができず、終盤までに5失点してしまう。しかし、残り時間が少なくなったところに山田がファウルから強烈な5mシュートを決めたところでこのピリオドを終える。

第4ピリオド

開始早々の退水で石田が落ち着いてキーパーとの一対一を決めるも、その後成蹊にカウンターを次々と決められ4失点。だがこちらの退水のチャンスに池亀が相手のハンドアップをものにもせず、シュートをゴールの右に決め、直後にも池亀のパスカットから山田のフローティングでさらに1点を追加する。しかしその後マークミス、パスミスで相次いで失点し、20対7で試合は終了し、東大は敗北してしまった。

前半、東大はオフェンスにおけるセットが高く、チャンスを作るのもままならない間に、成蹊にきっちりと得点を重ねられ流れを持っていかれてしまった。後半は逆に東大の得点は増えたもののマークミスやパスミスが目立った。関東学生リーグは後半戦に入った。この反省を次につなげ、修正しなくてはならないだろう。最後に監督を務めてくださった正田さん、応援に来てくださった洲鎌さん、吉田さん、お忙しい中ありがとうございました。

(文責 鈴木陽介)

=====